

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

施設番号	66-0810
施設名	中神保育園
施設所在地	東京都昭島市朝日町5-4-17
法人名	社会福祉法人多摩育児会中神保育園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

りんごをピカピカに磨こう！

<テーマの設定理由>

職員が長野県のリンゴ農園で収穫してきたリンゴをテラスで磨いていた際、「何しているの?」、「リンゴだ!」、「やりたい!」と子どもからの声があがり、リンゴ磨きの活動を行った。

2. 活動スケジュール

- ・リンゴ磨き
- ・試食

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

【磨く】 マイクロファイバークロス・選別用袋

【試食】 ビニール手袋（試食用）・アップルカッター（試食用）・包丁（試食用）

【環境】 ウッドデッキ（磨く／2歳児試食）・あすなろ保育室（3－5歳児試食）

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・ウッドデッキにて、マイクロファイバークロスを使いリングを磨き上げる
- ・磨き終わったリングを、傷の有無で分け選別する
- ・磨き終わったリングを保育者がカットし、少量ずつ試食
- ・磨き上げたリングは後日各園児一つずつ持ち帰り

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

- ・「ピカピカになってきた」と磨いた場所、これから磨く場所の違いを感じながら丁寧に磨いていた。
 - ・園庭で活動中、他児がリングを磨いているのを見て、「何しているの?」、「ぼくもやりたい」、「手伝おうか?」とリング磨きに参加する子どもが増えた。
 - ・「もう食べていい?」、「あまいね」、「おいしいね」、「おかわりあるかな?」と順番にカットしたリングに手を伸ばし、どれにしようか吟味する子ども、素早く近くにあるものに手を伸ばす子どもと様々だった。
- 中には「僕が（私が）磨いたんだよね」と自分で磨いたリングが試食できる喜びを感じている姿が見られる子どももいた。



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

各家庭に配布する予定のリングを磨くとなった時に、大人がただ磨くのではなく、磨いている姿も子どもたちに見てもらおうと、ウッドデッキで始めたが、子どもも興味を持って参加する姿が多く見られた。あえて参加人数を5名程度にしたが、満足しては次の子どもに順が変わり、最終的には入れ替わり含めて延べ15名程度の子どもが関わっていた。強制することなく、長時間行わなかったのも、子どもたちも「自分が磨いたリング」という認識を持ちながらも、色々なお友だちも磨いていた事実を理解している姿が見られた。小さな活動ではあったものの「人のために」という意識を少しだけ紹介できたと感じた。